

# 工事の施工に伴う地元への対応について

工事名： 令和4年度 河津下田道路 小鍋地区南整備工事

静岡県土木施工管理技士会  
下田支部  
河津建設 株式会社  
佐野 行伸  
(技術者番号: 00148199 )

## 1.はじめに

本工事は河津下田道路建設工事に伴い河津町小鍋地区において、主に既設工事用道路周辺の整備・撤去（仮栈橋・土留工・補強土壁・大型土のう）、逆川地区は逆川ICの資材置場整備。また、点在箇所の下田市加増野地区建設発生土受入地において受取～整地を行う工事である。

- (1)工 事 名: 令和4年度 河津下田道路 小鍋地区南整備工事
- (2)発 注 者: 国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所
- (3)工事場所: 静岡県 賀茂郡 河津町 小鍋 ～ 静岡県 下田市 加増野地区
- (4)工 期: 令和5年1月23日 ～ 令和6年2月29日
- (5)工事内容

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 道路土工（小鍋・逆川・加増野） 1式 | 法面工（小鍋・加増野） 1式    |
| 舗装工（小鍋・逆川） 1式      | 排水構造物工（小鍋・加増野） 1式 |
| RC橋脚工（小鍋） 1式       | 防護柵工（小鍋・逆川） 1式    |
| 道路附属施設工（小鍋・逆川） 1式  | 橋梁附属物工（小鍋） 1式     |
| 除草工（小鍋） 1式         | 構造物撤去工（小鍋・加増野） 1式 |
| 仮設工（小鍋・逆川・加増野） 1式  |                   |



## 2-1 施工箇所毎の問題点について(小鍋地区)

### (工事内容)

メインである小鍋地区では工事用道路の補強土壁と大型土嚢の撤去、既設橋脚の土留め撤去、

伊豆縦貫河津下田道路の建設により分断された生活道路を復旧する機能補償道路を施工した。

### (問題点)

工事の施工に先駆け近隣住民等へ工事着手の挨拶及び工事内容の説明を行った中で、

同地区は以前から大型車両による様々な弊害を被っていることから、厳しい事前注意を受けた。

それにより工事を円滑に進めるため、優先事項として近隣住民への配慮・対応策が問題となった。

### 施工箇所図(小鍋地区)





## 2-2 施工箇所毎の問題点について(逆川地区)

### (工事内容)

逆川地区では伊豆縦貫河津下田道路(逆川IC)のレベルバンクに雪寒基地の施工を行った。

主な施工内容は大型門扉・乗り入れ舗装・立入防止柵・AS舗装であった。

### (問題点)

国道414号側には既設のフェンスが設置されていたため、現場への出入りは伊豆縦貫道の上り線側

からとなることから後方を走る一般車との接触(追突)事故が想定された。また車道と面して

行う作業が多いため作業者と一般車両の接触事故も心配された。

### 施工箇所図(逆川IC雪寒基地)



## 2-3 施工箇所毎の問題点について(加増野地区)

### (工事内容)

加増野地区は河津下田道路全体の残土の受入～整地が主でそれに付随して法面工(植生マット)

排水構造物工の施工を行った。

### (問題点)

大型ダンプの走行により県道に泥を引張り、道路を汚し一般車両に迷惑をかける。

大量の盛土が大雨により流出～土石流災害になると想定されるため、確実な締固め

日常の雨対策(仮排水)が必要であった。

本工事着手前状況





### 3-1 問題点に関する対応・その他の実施事項(小鍋地区)

#### (問題点に関する対応)

残土運搬の影響で町道が汚損してしまうという問題への対応としては定期的に町道の掃き掃除を実施した。粉塵等の飛散防止対策として散水車による散水を実施した。

清掃状況



散水状況



#### コミュニケーション(地域貢献)

#### 小鍋地区住民と共同で行う道路清掃・用水路清掃

小鍋地区では年に2回町道の草刈りを行っているが、高齢化により負担が大きくなっている。協力体制を築くため、河津下田道路の工事関係者で協力し作業の手伝いを行った。また、同地区では農地所有者による農業用水路の草刈り、清掃も年2回行っているが、これについても同様に作業の手伝いを行った。地元住民との共同作業により連帯感が生まれ、施工が全体的にスムーズになった。

#### 稚鮎放流作業(河津町全体)

河津川漁業協同組合では年に2回河津川の各地で稚鮎の放流を行っているが、この稚鮎放流作業を工事関係者で協力し手伝いをした。この実績も地元から評価され工事の施工に対して協力的にしてもらうことに繋がった。

町道草刈・清掃



稚鮎放流作業の手伝い



### 3-2 問題点に関する対応・その他(逆川地区)

#### (問題点に関する対応)

現場出入時の事故を防ぐ為、出入口前に交通誘導員を配置し一般車両に減速を促すことを徹底した。

また車道に面した箇所での作業の際は、誘導員がすぐ近くに付き、徐行を促し事故防止に努めた。

交通誘導員配置状況



#### (創意工夫) NETIS登録技術のうち、試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術の活用

乗入舗装の生コンクリート打設時、新技術の活用としてコードレス高周波バイブレーターを用いて生コンクリートの打設を行った。

背負い式バッテリーを電源とする軽量な高周波バイブレーターで従来のコンクリートバイブ

レーターは発電機などに優先コードを接続し使用していたのでコードの持ち手人員が必要であった。

その為コードレス高周波バイブレーターの使用により持ち手人員の削減に繋がる。

またコードによる躓き転倒事故の解消に繋がり、経済性及び施工性の向上が図れる。

コードレス高周波バイブレーター使用状況



### 3-3 問題点に関する対応・その他(加増野地区)

## (問題点に関する対応)

大型車両の現場出入による県道の汚損という問題点への対応として、現場内にタイヤ洗浄機を設置した。

現場から出る際は必ず使用するよう関連する関係会社及びダンプ運転手への直接指導を実施した。

またタイヤ洗浄機だけでは完全に泥を除去出来ないことから、状況に応じて散水車による道路清掃を

並行して行った。

### タイヤ洗浄機使用状況



残土受入・盛土の施工に関しては、敷均しのみの設計ではあったが、自主的に転圧を十分に実施した。

またその実証として、定期的に密度試験や締固め試験を行い、盛土の確認をしながら管理した。

### 資料採取



### 密度及び吸水率試験



### 締固め試験



## 4.終わりに



今回の工事は拠点の小鍋地区では既設工事用道路の撤去・その他不透明な整備関連の工事。

重要構造物等はないが、点在する各所の管理を行う内容であり、関係者との調整や連絡が非常に多く、

そこが一番重要な工事であった。『調整・工程の変更・人員の配置(確保)等に対して臨機応変に対応

しながら、同時に安全を第一に意識した進め方の中で、現場員としてのスキルアップを図る。』

このように振り返ると、非常に良い経験することが出来たと感じている。

河津下田道路関連工事は、今後も継続して行われていくと思いますが、今回の経験も生かしつつ、

新たな方法も模索して様々な条件に対応できるよう、関係者と連携しながらやって行こうと考えている。

### 工事完成写真

小鍋地区



加増野地区



逆川地区

